

# 原子力防災チェックリスト（学校）

作成：福井大学 安田仲宏

## 【放射線】

・放射線と放射性物質の違いが分かる	Yes	No
・被ばくと汚染の違いが分かる	Yes	No
・我々は普段も外部被ばくしている	Yes	No
・我々は普段も内部被ばくしている	Yes	No
・普段の放射線量を大体把握している	Yes	No
・放射線量の情報を得る方法を知っている	Yes	No
・学校で生徒に放射線について教えている	Yes	No
・放射線や原子力防災の知識を得るために大学などの支援が必要	Yes	No
・教職員も放射線測定器の取扱いができるようになるべき	Yes	No

## 放射性物質が拡散した後

・車内よりもコンクリートの建物のほうが遮蔽効果が高い	Yes	No
・こどもの甲状腺を守る方法としてマスクが有効である	Yes	No
・安定ヨウ素剤の役割を知っている	Yes	No
・緊急被ばく医療に対応できる病院・医師を知っている	Yes	No

## 【防災一般】

・どこから情報を得ればよいか知っている	Yes	No
・教員の役割分担ができています	Yes	No
・教職員・生徒の安否確認・連絡方法を確立している	Yes	No
・学校に対する地域の方々の応援体制がある	Yes	No
・保護者への連絡手段を確立している	Yes	No
・電話が使えない場合を想定している	Yes	No
・生徒の引き渡し訓練を定期的に行っている	Yes	No
・避難行動などに関し、地域の方々と話をする場がある	Yes	No
・学校で原子力防災について検討を始めている	Yes	No
・防災教育を授業に取り入れている	Yes	No
・状況を生徒や保護者へ説明するための言葉を準備している	Yes	No
・生徒が学外にいるとき（登下校など）の対応を準備している	Yes	No
・同僚に原子力防災に興味のある教員がいる	Yes	No
・地域の学校間で情報交換など連絡が取れる準備がある	Yes	No

## 【PAZ 地域/UPZ 地域】

・自分の学校がどの地域に区分されるかを知っている	Yes	No
・事故発生からどのタイミングで避難するか知っている	Yes	No
・生徒がどの地域から通っているかを知っている	Yes	No
・県内・県外の避難場所・方法を把握している	Yes	No

## 【さらに外側の地域】

・学校が避難所指定を受けていることを知っている	Yes	No
・地域と連携し避難所開設の準備や訓練をしている	Yes	No
・避難者を受け入れるためにも放射線の知識が必要である	Yes	No